

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
松梅雪花三吉野 〔明治14・1新富座〕〔三段目・川連館〕	劇評	六二総連		『俳優評判記』	第十一編	明治14年4月 海寿堂
松梅雪花三吉野 〔明治14・1新富座〕〔三段目・川連館〕	劇評	六二総連		『六二連 俳優評判記 中』		平成16年3月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・9
春木座芸評 〔明治15・9春木座〕〔四段目〕	劇評	六二総連		『俳優評判記』	第十七編	明治15年10月 海寿堂
春木座芸評 〔明治15・9春木座〕〔四段目〕	劇評	六二総連		『六二連 俳優評判記 中』		平成16年3月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・9
千歳座芸評 〔明治18・7千歳座〕〔三段目・四段目〕	劇評	六二連 梅素薫 高須高燕		歌舞伎新報	第五百七十二号・第五百七十三号	明治18年8月 歌舞伎新報社
千歳座芸評 〔明治18・7千歳座〕〔三段目・四段目〕	劇評	六二連 梅素薫 高須高燕		『六二連 俳優評判記 歌舞伎新報編 上』		平成18年6月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・10
市村座略評 〔明治21・3市村座〕〔道行・川連館〕	劇評	六二連 高須高燕 鈴木松葉		歌舞伎新報	第八百八十三号・第八百八十四号	明治21年4月 歌舞伎新報社
市村座略評 〔明治21・3市村座〕〔道行・川連館〕	劇評	六二連 高須高燕 鈴木松葉		『六二連 俳優評判記 歌舞伎新報編 上』		平成18年6月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・10
寿座芸評 〔明治22・4寿座〕	劇評	六二連 高須高燕 梅素薫		歌舞伎新報	第七号・千八号	明治22年5月 歌舞伎新報社
寿座芸評 〔明治22・4寿座〕	劇評	六二連 高須高燕 梅素薫		『六二連 俳優評判記 歌舞伎新報編 下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・10
歌舞伎座略評 〔明治24・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	六二連 平山鶴丸 高須高燕		歌舞伎新報	第一千二百七十六号	明治24年8月 歌舞伎新報社
歌舞伎座略評 〔明治24・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	六二連 平山鶴丸 高須高燕		『六二連 俳優評判記 歌舞伎新報編 下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・10
大阪の菊五郎芝居 〔明治28・6大阪浪花座〕	劇評	饗庭篁村		『竹の屋劇評集』		昭和2年10月 東京堂

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
明治座の千本桜 〔明治29・1明治座〕	劇評	饗庭篁村		『竹の屋劇評集』		昭和2年10月 東京堂
浅草座の子供芝居 〔明治30・8浅草座〕〔木の実・すしや・川連館〕	劇評	饗庭篁村		『竹の屋劇評集』		昭和2年10月 東京堂
義経千本桜〔権太・狐忠信〕	芸談	山岸荷葉／編	《5》尾上菊五郎／ 述	『五世尾上菊五郎』		明治36年3月 文学堂 『歌舞伎俳優列伝集 近 世文芸研究叢書 第2期 (芸能編) 11』(平成9 年4月、クレス出版)に 復刻収録。
市村座脚本評 〔明治38・12市村座〕〔大物浦・道行・川連館〕	劇評	小山内撫子 吉田白甲 川尻清潭 三木竹二		歌舞伎	第69号	明治39年1月 歌舞伎発行所
市村座芸評 〔明治38・12市村座〕〔大物浦・道行・川連館〕	劇評	真如		歌舞伎	第69号	明治39年1月 歌舞伎発行所
静御前	芸談	倒扇居士	《6》尾上梅幸	演芸画報	明治41・7	演芸画報社
九郎判官義経	芸談	倒扇居士	《8》市川高麗蔵	演芸画報	明治41・7	演芸画報社
歌舞伎座合評 〔明治41・5歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦・道行・ 川連館〕	劇評	青々園 幸堂 清潭 真如		歌舞伎	第96号	明治41年7月 歌舞伎発行所
宮戸座の昼夜 〔明治42・2宮戸座〕	劇評	春浦		歌舞伎	第104号	明治42年3月 歌舞伎発行所
尾上菊五郎「狐忠信」	写真 型		《6》尾上菊五郎	演芸画報	明治43・4	演芸画報社
五世菊五郎追想録〔四の切〕	演出	《8》河原崎権之 助	忠信（《5》尾上菊 五郎）	演芸画報	大正4・2	演芸倶楽部
義経と富樫	芸談		《3》市村亀蔵	演芸画報	大正4・3	演芸倶楽部
忠信と政次	芸談		《6》市川寿美蔵	演芸画報	大正4・3	演芸倶楽部
明治座の新青年一座 〔大正4・2明治座〕〔道行・川連館〕	劇評	岡村柿紅		演芸画報	大正4・3	演芸倶楽部
団菊左の権太 〔明治14・1新富座〕	劇評	岡村柿紅		演芸画報	大正5・9	演芸倶楽部
義経千本桜 歌舞伎劇の「型」拾八種（その13）	写真 型		《6》尾上菊五郎	演芸画報	大正9・1	演芸倶楽部
歌舞伎劇型十八種〔狐忠信〕	型	川尻清潭		演芸画報	大正9・1	演芸倶楽部
「狐忠信」の珍型	解説	関根黙庵		演芸画報	大正9・11	演芸倶楽部 義経千本桜の役々より見 たる当代俳優

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
適任と不適任と	解説	岡本綺堂		演芸画報	大正9・11	演芸倶楽部 義経千本桜の役々より見たる当代俳優
千本桜と当代俳優	解説	川尻清潭		演芸画報	大正9・11	演芸倶楽部 義経千本桜の役々より見たる当代俳優
千本桜の役々より見たる大阪俳優	解説	銀兵衛		演芸画報	大正9・11	演芸倶楽部 義経千本桜の役々より見たる当代俳優
「木の実」から「御殿」	解説	遠藤為春		演芸画報	大正9・11	演芸倶楽部 義経千本桜の役々より見たる当代俳優
義経千本桜 〔大正14・4大阪弁天座〕〔北嵯峨・すしや・道行・川連館〕	見たまま	小松君夫	狐忠信（《2》市川右団次）義経（市川荒太郎）	演芸画報	大正14・5	演芸画報社
義経	芸談	武蔵の六郎	《6》嵐吉三郎	演芸画報	大正15・10	演芸画報社 錨知盛八面観 大物浦の役々に就いて
義経記	解説	飯塚友一郎		『歌舞伎細見』		大正15年10月 第一書房
五代目と大道具〔四の切〕	演出	《14》長谷川勘兵衛		演芸画報	昭和3・2	演芸画報社
一月の本郷座 〔昭和3・1本郷座〕〔鳥居前・川連館〕	劇評	高安月郊		演芸画報	昭和3・2	演芸画報社
初開場の東京劇場 〔昭和5・4東京劇場〕〔川連館〕	劇評	三宅三郎		『歌舞伎劇鑑賞』		昭和17年7月 三田文学出版部
東京劇場の舞台開き 〔昭和5・4東京劇場〕〔川連館〕	劇評	岡鬼太郎		『歌舞伎と文楽』		昭和18年5月 三田文学出版部
狐、猫、狼	芸談	《6》尾上梅幸		『梅の下風』		昭和5年11月 法木書店
狐、猫、狼	芸談	《6》尾上梅幸 井口政信		『梅の下風』		昭和28年10月 演劇出版社 『女形の芸談』昭和63年11月、演劇出版社に収録。
歌舞伎狂言と俳優との相関性〔千本桜〕	解説	三島霜川		演芸画報	昭和9・1	演芸画報社
舞台陶酔境 土蜘蛛と狐忠信	随筆	小池孝子		演芸画報	昭和9・1	演芸画報社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
『義経伝説と文学』	研究	島津久基		『義経伝説と文学』		昭和10年1月 明治書院 昭和52年5月、大学堂書 店より再版。『御伽草子 研究叢書 第四巻』平成 15年11月、クレス出版、 収録。
二月の南座の観る 〔昭和10・2京都南座〕〔堀川御所・川連館〕	劇評	安部豊		演芸画報	昭和10・3	演芸画報社
京阪三座見物 〔昭和11・12大阪浪花座〕〔道行・木の実・すし や・川連館〕	劇評	安部豊		演芸画報	昭和12・1	演芸画報社
「椎の木」の上演 扇雀の「藤十郎の恋」 〔昭和11・12大阪浪花座〕〔道行・木の実・すし や・川連館〕	劇評	山口廣一		『大阪の芝居』		昭和17年12月 輝文館
二月の関西劇壇 〔昭和14・2大阪大阪歌舞伎座〕〔道行・すしや・ 川連館〕	劇評	高谷伸		演芸画報	昭和14・3	演芸画報社
千本と勸進帳 〔昭和14・2大阪大阪歌舞伎座〕〔道行・すしや・ 四の切〕	劇評	武智鉄二		『かりの翅』		昭和16年8月 千歳書房 昭和44年2月 学芸書林
千本と勸進帳 〔昭和14・2大阪大阪歌舞伎座〕〔道行・すしや・ 四の切〕	劇評	武智鉄二		『定本武智歌舞伎 武智鉄 二全集』	第二巻	昭和54年3月 三一書房
義経千本桜	解説	藤村作		『物語近世文学 第八巻 浄瑠璃名作集』		昭和15年12月 雄山閣
春芝居から昔語りへ	解説	渥美清太郎		演芸画報	昭和16・2	演芸画報社
歌舞伎の総浚拝見〔すしや〕	訪問記	細矢安太郎		演芸画報	昭和16・5	演芸画報社
歌舞伎座の菊五郎 〔昭和16・11歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	岡田八千代		演芸画報	昭和17・1	演芸画報社
菊五郎の芸術 〔昭和16・11歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	岡鬼太郎		演芸画報	昭和17・1	演芸画報社
国民演劇参加六種 新作「恩讐吹上」 〔昭和16・11歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	三宅三郎		『続歌舞伎劇鑑賞』		昭和18年4月 三田文学出版部
戯曲形態論 合作時代の戯曲形態 時代物系の代表 作「義経千本桜」の形態／劇的性格論 時代物系 の劇的性格 操浄瑠璃系時代物の劇的性格 「義経 千本桜」の劇的性格	研究	中村吉蔵		『日本戯曲技巧論』		昭和17年7月 中央公論社
二月六日 〔昭和19・2新橋演舞場〕〔鳥居前・川連館〕	劇評	三島由紀夫		『芝居日記』		平成3年7月 中央公論社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
忠信 相模五郎	芸談	《3》中村仲蔵		『手前味噌』		昭和19年3月 北光書房
忠信 相模五郎	芸談	《3》中村仲蔵／ 著		『手前味噌』		昭和44年11月 青蛙房
鼓の打ち方〔静御前〕／ 獸類の挙動〔狐忠信〕	芸談	川尻清潭	《6》尾上梅幸	『女形の事』		昭和19年6月 主婦之友社
十一月八日 〔昭和21・11東京劇場〕〔川連館〕	劇評	三島由紀夫		『芝居日記』		平成3年7月 中央公論社
千本桜鑑賞教室	鑑賞	渥美清太郎		演劇界	昭和23・2	日本演劇社
叙事詩としての義経千本桜	鑑賞	高岡宣之		演劇界	昭和23・2	日本演劇社
義経千本桜（総説）	鑑賞	太宰施門		役者	昭和23・2	万粧書房
道行初音旅（四段目の口）	鑑賞	仁村美津夫		役者	昭和23・2	万粧書房
四ノ切の忠信（四段目の切）	鑑賞	川尻清潭		役者	昭和23・2	万粧書房
義経千本桜私感 〔昭和23・2東京劇場〕〔鳥居前・渡海屋・大物 浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	戸板康二		演劇界	昭和23・3	日本演劇社
菊五郎駄目帳 〔昭和23・2東京劇場〕	演出 劇評	川尻清潭		日本演劇	昭和23・3	日本演劇社
源義経	芸談	川尻清潭	《5》沢村田之助	役者	昭和23・3	万粧書房 「義経千本桜」対談会
静御前と維盛	芸談	斎藤竹治	《7》尾上梅幸	役者	昭和23・3	万粧書房 「義経千本桜」対談会
鳥居前、道行、四の切の忠信	芸談	斎藤竹治	《2》尾上松緑	役者	昭和23・3	万粧書房 「義経千本桜」対談会
狐六法の手	芸談		《2》市川猿之助	役者	昭和23・3	万粧書房
「義経千本桜」私感 〔昭和23・2東京劇場〕〔鳥居前・渡海屋・大物 浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	戸板康二		『歌舞伎の周囲』		昭和23年11月 角川書店
「千本桜」採点 〔昭和23・2東京劇場〕〔鳥居前・渡海屋・大物 浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	戸板康二		『今日の歌舞伎』		昭和27年11月 創元社
千本桜研究	鑑賞	戸板康二		『丸本歌舞伎』		昭和24年3月 和敬書店
旅から旅へ〔権太〕	芸談		《2》中村鴈治郎	幕間	昭和25・9	和敬書店
延若さんのこと〔お里〕	芸談		《4》中村富十郎	幕間	昭和26・2	和敬書店
「四の切」その他 〔昭和26・5明治座〕〔川連館〕	劇評	大木豊		演劇界	昭和26・6	演劇新社
忠信のけれん	芸談		《2》尾上松緑	幕間	昭和26・6	和敬書店
明治座の菊五郎劇団 男女蔵と松緑の交代提示 〔昭和26・5明治座〕〔川連館〕	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和26・6	和敬書店
「義経千本桜」ノート	研究			『歌舞伎ノート』		昭和26年12月 創元社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
菅原・千本桜・忠臣蔵	鑑賞	楠山正雄		『歌舞伎評論』		昭和27年11月 富山房
義経千本桜	鑑賞	三宅三郎		『歌舞伎教室』		昭和28年7月 ポプラ社 久保田万太郎・戸板康二 ／編
梅忠の安定感 〔昭和28・10大阪中座〕〔川連館〕	劇評	原田矢絵子		演劇界	昭和28・11	演劇出版社
受けた通俗の味 十月の「中座歌舞伎」 〔昭和28・10大阪中座〕〔川連館〕	劇評	辻田孝一		幕間	昭和28・11	和敬書店
初めての荒事	芸談		《4》河原崎権三郎	幕間	昭和29・3	和敬書店
「四の切」雑記	解説	加賀山直三		幕間	昭和29・4	和敬書店
ほしいままなる「四の切」を問題にする 〔昭和29・4歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	本山荻舟		劇評	昭和29・4	歌舞伎堂第一書店
勘三郎の熱汗 〔昭和29・4歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	久住良三		演劇界	昭和29・5	演劇出版社
難役狐忠信〔四の切〕	芸談		《17》中村勘三郎	幕間	昭和29・5	和敬書店
お花見月の東京・歌舞伎座評 〔昭和29・4歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	印南喬		幕間	昭和29・5	和敬書店
「舞台鑑賞」川連館	鑑賞	松井敏明		劇評	昭和29・5	歌舞伎堂第一書店
初役二つ 〔昭和29・6名古屋御園座〕〔堀川御所・川連館〕	劇評	利倉幸一		演劇界	昭和29・7	演劇出版社
吉のいない吉右衛門劇団 〔昭和29・6名古屋御園座〕〔堀川御所・川連館〕	劇評	前田満穂		幕間	昭和29・7	和敬書店
静御前	芸談		《3》市川左団次	演劇界	昭和30・6	演劇出版社
若手活躍す 〔昭和30・7東横ホール〕	劇評	本地盈輝		演劇界	昭和30・8	演劇出版社
有難い先輩の鞭〔四の切の忠信〕	芸談		《4》坂東八十助	幕間	昭和30・8	和敬書店
わるくない古劇気分 〔昭和30・7東横ホール〕〔川連館〕	劇評	大木豊		幕間	昭和30・8	和敬書店
お紺の苦しみ〔静御前〕	芸談		《2》大川橋蔵	幕間	昭和30・8	和敬書店
ふるさとの歌・本能愛の悲しみ〔四の切〕	鑑賞	加賀山直三		『歌舞伎の視角 十六種の 狂言鑑賞を通して』		昭和31年10月 角川書店 『歌舞伎』昭和43年1 月、雄山閣出版に所収。
千本桜	鑑賞	安藤鶴夫		演劇界 歌舞伎狂言百科 2	昭和32・11増 刊	演劇出版社
演舞場と初春芝居 〔昭和34・1新橋演舞場〕〔川連館〕	劇評	加賀山直三		劇評	昭和34・1	「劇評」社
菊五郎劇団の初春興行 〔昭和34・1新橋演舞場〕〔川連館〕	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和34・2	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
吉例菊五郎劇団 〔昭和34・1新橋演舞場〕〔川連館〕	劇評	三宅三郎		幕間	昭和34・2	和敬書店
千本桜（義経千本桜）	解説	戸板康二		『歌舞伎鑑賞入門』		創元社 昭和34年12月
南座の花梢会と二つの近松物 〔昭和35・6京都南座〕〔川連館〕	劇評	北岸佑吉		演劇界	昭和35・7	演劇出版社
「四の切」の忠信	芸談		《2》実川延二郎	幕間	昭和35・7	和敬書店
代打失格の弁 南座花梢会公演評にかえて 〔昭和35・6京都南座〕〔川連館〕	劇評	権藤芳一		幕間	昭和35・7	和敬書店
義経千本桜	解説	河竹繁俊		『演劇百科大事典』	第四巻	昭和36年3月 平凡社 早稲田大学演劇博物館／ 編
名作の味わい方 千本桜	鑑賞	藤田洋		演劇界	昭和36・5	演劇出版社
並びは華やかだが 〔昭和36・4歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和36・5	演劇出版社
河連館を共演して	芸談		《10》竹澤弥七	幕間	昭和36・5	和敬書店
本行による「四ノ切」	芸談		《17》中村勘三郎	幕間	昭和36・5	和敬書店
「続残菊」いろいろ〔四の切の静御前〕	芸談		《7》尾上梅幸	幕間	昭和36・5	和敬書店
内容は現代のもの〔四の切の義経〕	芸談		《17》市村羽左衛	幕間	昭和36・5	和敬書店
ごもくずしの狂言立て 〔昭和36・4歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	加賀山直三		幕間	昭和36・5	和敬書店
お園と静御前	芸談		《7》市川門之助	演劇界	昭和38・5	演劇出版社
忠信を中心に	芸談		《4》坂東鶴之助	演劇界	昭和38・5	演劇出版社
力作、野口達二の「富樫」 〔昭和38・4東横ホール〕〔川連館〕	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和38・5	演劇出版社
役者冥利の知盛と忠信	芸談		《2》尾上松緑	演劇界	昭和38・10	演劇出版社
勉強になる静御前	芸談		《2》中村扇雀	演劇界	昭和38・10	演劇出版社
もたれ役の義経	芸談		《14》守田勘弥	演劇界	昭和38・10	演劇出版社
古典かぶきの新歌舞伎の勝負 〔昭和38・9歌舞伎座〕〔鳥居屋・渡海屋・大物 浦・道行・川連館〕	劇評	郡司正勝		演劇界	昭和38・10	演劇出版社
満足そうな客席の表情 〔昭和38・10名古屋御園座〕〔すしや・川連館〕	劇評	鷺見房子		演劇界	昭和38・10	演劇出版社
充実した「義経千本桜」 〔昭和38・9歌舞伎座〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和38・10	演劇出版社
勘弥の「実盛」 〔昭和39・12東横ホール〕〔川連館〕	劇評	田中俊夫		演劇界	昭和40・1	演劇出版社
雀右衛門の危険 〔昭和40・6大阪大阪歌舞伎座〕〔道行・川連館〕	劇評	山口廣一		演劇界	昭和40・7	演劇出版社
顔見世十三時間半 〔昭和41・12京都南座〕〔川連館〕	劇評	井上甚之助		演劇界	昭和42・1	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
「千本桜」の中心に 〔昭和42・8新橋演舞場〕〔すしや・川連館〕	劇評	利倉幸一		演劇界	昭和42・9	演劇出版社
千本桜 型のいろいろ	型	三宅三郎		演劇界	昭和43・3	演劇出版社 義経千本桜案内
四段目 「四の切」管見	鑑賞	金沢康隆		演劇界	昭和43・3	演劇出版社 義経千本桜案内 各段鑑賞読本
判官びいきと悲劇の立役	鑑賞	飯塚友一郎		演劇界	昭和43・3	演劇出版社 義経千本桜案内 各段鑑賞読本
「千本桜」の作者と時代	鑑賞	鳥越文蔵		演劇界	昭和43・3	演劇出版社 義経千本桜案内
印象に残る「千本桜」役々	懐旧	遠藤為春		演劇界	昭和43・3	演劇出版社 義経千本桜案内
義経千本桜 歌舞伎と人形浄瑠璃	鑑賞	高野正巳		国立劇場第一三回歌舞伎公演解説書	昭和43・3	国立劇場事業部
「芋洗い」と「狐六方」	鑑賞	金澤康隆		国立劇場第一三回歌舞伎公演解説書	昭和43・3	国立劇場事業部
「千本桜」歴史と名所の旅	史跡			国立劇場第一三回歌舞伎公演解説書	昭和43・3	国立劇場事業部
史実の源義経	考証	安田元久		国立劇場第一三回歌舞伎公演解説書	昭和43・3	国立劇場事業部
義経千本桜 よもやま話Ⅰ 堀川御所から道行まで	芸談		《8》竹本綱大夫 安藤鶴夫	国立劇場第一三回歌舞伎公演解説書	昭和43・3	国立劇場事業部
「四の切」雑感	鑑賞	浜村米蔵		国立劇場第一四回歌舞伎公演解説書	昭和43・4	国立劇場事業部
随筆源義経	鑑賞	村上元三		国立劇場第一四回歌舞伎公演解説書	昭和43・4	国立劇場事業部
「千本桜」歴史と名所の旅	史跡			国立劇場第一四回歌舞伎公演解説書	昭和43・4	国立劇場事業部
義経千本桜 よもやま話Ⅱ 北嵯峨庵室から大詰まで	芸談		《8》竹本綱大夫 安藤鶴夫	国立劇場第一四回歌舞伎公演解説書	昭和43・4	国立劇場事業部
接着剤的通し狂言 〔昭和43・4国立劇場〕〔北嵯峨・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	山口廣一		演劇界	昭和43・5	演劇出版社
銀平実は平知盛／いがみ権太／佐藤忠信	芸談	土岐迪子	《2》尾上松緑	演劇界	昭和44・3	演劇出版社 私の役づくり
おりう実は典侍の局／弥助実は維盛／静御前	芸談	土岐迪子	《7》尾上梅幸	演劇界	昭和44・3	演劇出版社 私の役づくり
充実した好舞台 〔昭和44・2名古屋御園座〕〔川連館〕	劇評	関山和夫		演劇界	昭和44・3	演劇出版社



題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
狐忠信／碓知盛	鑑賞	河竹登志夫／文 吉田千秋／写真		『歌舞伎のいのち』		昭和44年3月 淡交社
義経千本桜	鑑賞	三宅三郎		演劇界 歌舞伎狂言の鑑賞	昭和44・5増刊	演劇出版社
「義経千本桜」細見	鑑賞	富田鉄之助		季刊雑誌歌舞伎	第9号	昭和45年7月 松竹株式会社演劇部 特集・義経千本桜
「義経千本桜」の夢幻性	研究	河竹登志夫		季刊雑誌歌舞伎	第9号	昭和45年7月 松竹株式会社演劇部 特集・義経千本桜
「義経記」の世界	研究	森山重雄		季刊雑誌歌舞伎	第9号	昭和45年7月 松竹株式会社演劇部 特集・義経千本桜
芸の規格と伝承 〔昭和45・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	上総英郎		演劇界	昭和45・8	演劇出版社
宙乗り狐六法 〔昭和46・6京都南座〕〔川連館〕	劇評	北川忠彦		演劇界	昭和46・7	演劇出版社
猿之助百年記念の五役 〔昭和46・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	河竹登志夫		演劇界	昭和46・7	演劇出版社
「吉野山」の忠信／「四の切」の忠信	芸談		《2》尾上松緑	『踊りの心』		昭和46年10月 毎日新聞社
過ぎ去ったイメージのもとに 〔昭和46・11歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	成瀬正勝		演劇界	昭和46・12	演劇出版社
猿之助名演集 〔昭和47・6京都南座〕〔川連館・道行〕	劇評	藤井康雄		演劇界	昭和47・7	演劇出版社
若い人々と歌舞伎 〔昭和47・7国立劇場〕〔鳥居前・川連館〕	劇評	藤巻透		演劇界	昭和47・8	演劇出版社
三賞揃った芝居 〔昭和47・10名古屋御園座〕〔川連館〕	劇評	岩沙慎一		演劇界	昭和47・11	演劇出版社
新路線の歌舞伎 〔昭和48・1大阪大阪新歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	沼艸雨		演劇界	昭和48・2	演劇出版社
「勸進帳」の役柄 〔昭和49・2大阪大阪新歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	北川忠彦		演劇界	昭和49・3	演劇出版社
人間性の幅と演技の幅 〔昭和49・10新橋演舞場〕〔川連館〕	劇評	野村喬		演劇界	昭和49・11	演劇出版社
〔すしや・四の切〕	鑑賞	藤井康雄		『歌舞伎の芸』		昭和49年11月 私家版
幸四郎と菊五郎と当り役 〔昭和50・9歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和50・10	演劇出版社
「義経千本桜」の三役〔知盛・権太・狐忠信〕	演出	《3》市川猿之助		『演者の目』		昭和51年3月 朝日新聞社
千本桜	鑑賞	落合清彦		季刊雑誌歌舞伎「歌舞伎名 作鑑賞第二集」	別冊7号	昭和51年3月 松竹株式会社演劇部

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
芸団協の「義経伝説の芸能」	雑記	藤田洋		演劇界	昭和51・5	演劇出版社
“江戸ッ子”の権太／「四の切」の忠信	芸談		《2》尾上松緑	『役者の子は役者』		昭和51年7月 日本経済新聞社
腕を上げた猿之助 〔昭和51・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和51・8	演劇出版社
源平の群像	鑑賞	永井路子		国立劇場第八十回歌舞伎公演解説書	昭和51・10	国立劇場事業部
超一級の歌舞伎 名作ゆえにこそ、多彩な演技がある	鑑賞	山口廣一		国立劇場第八十回歌舞伎公演解説書	昭和51・10	国立劇場事業部
「実は」の作劇法	研究	原道生		国立劇場第八十回歌舞伎公演解説書	昭和51・10	国立劇場事業部
「義経千本桜」の初演のころ	評論	横山正		国立劇場第八十回歌舞伎公演解説書	昭和51・10	国立劇場事業部
義経千本桜 四段目 狐忠信	鑑賞	山田恒雄		『歌舞伎の心』		昭和51年11月 丸井図書出版
沙羅双樹の花の色	鑑賞	杉本苑子		国立劇場第八一回歌舞伎公演解説書	昭和51・11	国立劇場事業部
江戸歌舞伎のおもしろさの追究	鑑賞	大鋸時生		国立劇場第八一回歌舞伎公演解説書	昭和51・11	国立劇場事業部
歌舞伎と操り	研究	阪倉篤義		国立劇場第八一回歌舞伎公演解説書	昭和51・11	国立劇場事業部
滅びの詩	評論	今尾哲也		国立劇場第八一回歌舞伎公演解説書	昭和51・11	国立劇場事業部
超一級品梅幸の二役 〔昭和51・11国立劇場〕〔北嵯峨・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和51・12	演劇出版社
河連法眼館の段	解説	戸板康二		『鑑賞日本古典文学 第30巻 浄瑠璃・歌舞伎』		昭和52年6月 角川書店 戸板康二／編集
充実した「四の切」 〔昭和52・5京都南座〕〔川連館〕	劇評	権藤芳一		演劇界	昭和52・6	演劇出版社
三人三様の「鏡獅子」 〔昭和52・10歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	上村巖		演劇界	昭和52・11	演劇出版社
春愁の賦 河連法眼館	鑑賞	志野葉太郎		演劇界	昭和53・5	演劇出版社 義経千本桜案内
義経流転の跡を訪ねて	解説	河合眞澄		演劇界	昭和53・5	演劇出版社 義経千本桜案内
「義経千本桜」閑談	懐旧談	藤浦富太郎		演劇界	昭和53・5	演劇出版社 義経千本桜案内

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
延若の奮闘 芝翫の実力 〔昭和53・5大阪朝日座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・北嵯峨・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	北川忠彦		演劇界	昭和53・6	演劇出版社
「義経千本桜」で権太を熱演の延若 〔昭和53・5大阪朝日座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・北嵯峨・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	栗山和義		上方芸能	五七号	昭和53年7月 『上方芸能』編集部
「実は」の作劇法（上）「義経千本桜」の場合 忠信の鼓／お里の前垂れ／小せんの呼吸／静御前の鼓	研究 鑑賞	原道生 渡辺保		文学 『女形百姿』	昭和53・8	岩波書店 昭和53年9月 青蛙房
「実は」の作劇法（下）「義経千本桜」の場合 歌右衛門の「春日局」 〔昭和53・9京都南座〕〔木の実・竹藪・すしや・道行・川連館〕	研究 劇評	原道生 吉田登喜雄		文学 演劇界	昭和53・10 昭和53・10	岩波書店 演劇出版社
歌右衛門の芸格で成功の昭和史劇「春日局」 〔昭和53・9京都南座〕〔木の実・竹藪・すしや・道行・川連館〕	劇評	栗山和義		上方芸能	六十号	昭和54年2月 『上方芸能』編集部
『三大歌舞伎 菅原・千本桜・忠臣蔵』	鑑賞	郡司正勝／監修 林嘉吉・飯村隆／ 写真		『三大歌舞伎 菅原・千本桜・忠臣蔵』		昭和54年3月 毎日新聞社
義経千本桜〔文楽舞踊〕	解説	武智鉄二		『定本武智歌舞伎 武智鉄二全集』	第三卷	昭和54年8月 三一書房
手足揃いではあるが 〔昭和54・9名古屋御園座〕〔川連館〕	劇評	岩沙慎一		演劇界	昭和54・11	演劇出版社
義経千本桜 よもやま話	芸談	朝日新聞社／編	《8》竹本綱大夫 安藤鶴夫	『対談集 かぶきの花と心』		昭和55年1月 朝日新聞社
名企画の奮闘劇 〔昭和55・7歌舞伎座〕	劇評	水落潔		演劇界	昭和55・8	演劇出版社
『義経千本桜』	現代語訳	村上元三／著 吉原俊一／編		『義経千本桜』		昭和55年9月 学習研究社 現代語訳日本の古典18
菊五郎初役の忠信 〔昭和55・9国立劇場〕〔道行・川連館〕	劇評	浜村道哉		演劇界	昭和55・10	演劇出版社
『義経千本桜』	写真 解説	杵島隆		『義経千本桜』	巻1～巻4	昭和56年3月 日本放送協会 浮世絵、歌舞伎上・下、 文楽
古典の壁は厚かった 〔昭和56・5京都南座〕〔北嵯峨・木の実・竹藪・すしや・川連館・蔵王堂〕	劇評	北川忠彦		演劇界	昭和56・7	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
「義経千本桜」通し上演 〔昭和56・5京都南座〕〔北嵯峨・木の実・竹藪・ すしや・川連館・蔵王堂〕	劇評	栗山和義		上方芸能	七二号	昭和56年8月 『上方芸能』編集部
鑑賞案内・名曲舞踊十二選 吉野山	鑑賞	西形節子		演劇界	昭和57・4	演劇出版社
義経千本桜	鑑賞	渡辺保		『歌舞伎手帖』		昭和57年7月 駸々堂出版
舞台は充実、客席が 〔昭和58・1歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	昭和58・2	演劇出版社
義経千本桜	解説 鑑賞	水落潔		『歌舞伎名作事典』		昭和58年3月 演劇出版社
猿之助のカブキ 欄間抜け 義経千本桜四ノ切より	芸談		《3》市川猿之助	芸術新潮	昭和58・3	新潮社
義経千本桜	解説	今尾哲也		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・ 廣末保／編 平成23年3月
狐手	解説	高瀬精一郎		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・ 廣末保／編 平成23年3月
ケレン・外連	解説	織田紘二		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・ 廣末保／編 平成23年3月
隈取〔火焰隈〕	解説	小池章太郎		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・ 廣末保／編 平成23年3月
源平合戦物	解説	原道生		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・ 廣末保／編 平成23年3月
宙乗り	解説	小池章太郎		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・ 廣末保／編 平成23年3月

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
並木宗輔	解説	内山美樹子		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・ 廣末保／編 平成23年3月
六方（法）	解説	鳥越文蔵		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・ 廣末保／編 平成23年3月
好企画・忠臣の通し 〔昭和58・10歌舞伎座〕〔大内・堀川御所・鳥居 前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和58・11	演劇出版社
なぜ「ケレン」芝居なのか〔四の切〕／猿之助歌 舞伎とは〔義経千本桜〕／早替りと欄間抜け〔四 の切〕	演出	《3》市川猿之助		『猿之助修羅舞台』		昭和59年5月 大和山出版社
動物づくし 狐	芸談	関容子	《17》中村勘三郎	『中村勘三郎楽屋ばなし』		昭和60年1月 文芸春秋 昭和62年12月 文春文庫
代表作をもって対陣 〔昭和60・4明治座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海 屋・大物浦・道行・木の実・すしや・川連館・蔵 王堂〕	劇評	中村哲郎		演劇界	昭和60・5	演劇出版社
猿之助一座の訪欧歌舞伎 〔昭和60・5～6海外公演〕	報告	藤田洋	忠信（《3》市川猿 之助）	演劇界	昭和60・8	演劇出版社
歌舞伎の危機と猿之助への期待 〔昭和60・12歌舞伎座〕〔鳥居前・吉野山・川連 館・蔵王堂〕	劇評	林京平		演劇界	昭和61・1	演劇出版社
義経千本桜	解説 梗概	灰田由記子 吉永孝雄		『浄瑠璃作品要説〈4〉竹 田出雲篇』		昭和61年2月 国立劇場芸能調査室編
〔お里・若葉の内侍・小せん・典侍局・静御前〕	芸談	河村藤雄	《6》中村歌右衛門	『六代目中村歌右衛門』	下巻	昭和61年2月 小学館
播磨屋の忠信をこそ 〔昭和61・6国立劇場〕〔川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	昭和61・7	演劇出版社
ザ・カブキ「義経千本桜」 〔昭和62・6名古屋中日劇場〕〔鳥居前・吉野山・ 川連館・蔵王堂〕	劇評	安田文吉		演劇界	昭和62・7	演劇出版社
猿之助着想と豊かさ 〔昭和62・9京都南座〕〔大物浦・道行・川連館〕	劇評	福島秀治		演劇界	昭和62・10	演劇出版社
スペインの評判記とパリの宙乗り 〔昭和62・10海外公演〕	劇評	横溝幸子		演劇界	昭和62・12	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
演劇のパフォーマンス 〔昭和63・1歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	利根川裕		演劇界	昭和63・2	演劇出版社
静御前／お里	鑑賞 写真	津田類 吉田千秋／写真		『女方 歌舞伎のヒロイン たち』		昭和63年5月 朝日新聞社
「義経千本桜」の深い奥行き	演出	藤田洋	《3》市川猿之助	『猿之助歌舞伎ヨーロッパ へ宙乗り』		昭和63年7月 朝日新聞社
歌書よりも軍書に悲し吉野山 〔昭和63・7歌舞伎座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海 屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連 館・蔵王堂〕	劇評	天野道映		演劇界	昭和63・8	演劇出版社
佳編「吉野山」 〔昭和63・7歌舞伎座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海 屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連 館・蔵王堂〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和63・8	演劇出版社
運命をかたる人々	研究	松井今朝子		歌舞伎 研究と批評	創刊号	昭和63年8月 歌舞伎学会 作品研究「義経千本桜」 三段目鮎屋
昭和の最後の歌舞伎 〔昭和63・7歌舞伎座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海 屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連 館・蔵王堂〕	劇評	天野道映		歌舞伎 研究と批評	2	昭和63年12月 歌舞伎学会
「志度寺」と「千本桜」の競演 〔昭和63・8国立劇場〕〔木の実・竹藪・すしや・ 川連館〕	劇評	津金規雄		演劇界	昭和63・10	演劇出版社
猿之助健在 〔昭和63・11大阪大阪新歌舞伎座〕〔鳥居前・吉 野山・川連館・蔵王堂〕	劇評	大川達雄		演劇界	昭和63・12	演劇出版社
義経千本桜〔忠信・知盛・権太〕	芸談		《2》尾上松緑	『松緑芸話』		平成1年5月 講談社
源義経〈貴種流離〉のダンディズム	鑑賞	杉本苑子		『歌舞伎のダンディズム』		平成1年8月 日本放送出版協会
「義経千本桜」論	研究	内山美樹子		『浄瑠璃史の十八世紀』		平成1年10月 勉誠社
いがみの権太／狐忠信	鑑賞	水落潔		『歌舞伎紳士録・江戸のシ ティーボーイ』		平成1年11月 鎌倉書房
お里／静御前	鑑賞	水落潔		『歌舞伎淑女録・江戸の キャリアウーマン』		平成1年11月 鎌倉書房
また逢う日まで、南座の顔見世 〔平成1・11京都南座〕〔川連館〕	劇評	藤井康雄		演劇界	平成2・1	演劇出版社
仁左衛門の孫右衛門 〔平成2・6大阪中座〕〔川連館〕	劇評	藤井康雄		演劇界	平成2・7	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
勘九郎の「弁天」と「四の切」 〔平成2・6大阪中座〕〔川連館〕	劇評	権藤芳一		歌舞伎 研究と批評	6	平成2年12月 歌舞伎学会
上方と東京の演出 その二〔すしや・川連館〕	鑑賞	水落潔		『上方歌舞伎』		平成2年9月 東京書籍
『千本桜 花のない神話』	評論	渡辺保		『千本桜 花のない神話』		平成2年10月 東京書籍
歌舞伎白書から報告 戦後昭和歌舞伎の動向〔「義経千本桜」の上演状況〕	研究	水田かや乃		歌舞伎 研究と批評	6	平成2年12月 歌舞伎学会
益々好調「千本桜・忠信篇」 〔平成2・12歌舞伎座〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	平成3・1	演劇出版社
まず新作の努力を 〔平成2・12歌舞伎座〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	大笹吉雄		歌舞伎 研究と批評	7	平成3年6月 歌舞伎学会
猿之助、若手大抜擢の旅 〔平成3・1～2地方公演〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	河村常雄		演劇界	平成3・4	演劇出版社
公文協道中双六『千本桜』の「四の切」への想い 〔平成3・1～2地方公演〕	芸談		《1》市川右近	年鑑おもだか	91	平成4年6月 おもだか会
若手抜擢の「旅の重さ」 〔平成3・1～2地方公演〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	河村常雄		年鑑おもだか	91	平成4年6月 おもだか会
義経千本桜	鑑賞	山川静夫 吉田千秋／写真		『山川静夫の歌舞伎十八選』		平成3年6月 講談社
猿之助歌舞伎満開 〔平成3・9大阪大阪新歌舞伎座〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	藤井康雄		演劇界	平成3・10	演劇出版社
義経の行方	鑑賞	秋元松代		国立劇場第一六九回歌舞伎公演解説書	平成3・11	日本芸術文化振興会
九郎判官流離旅	史跡	榎その／絵		国立劇場第一六九回歌舞伎公演解説書	平成3・11	日本芸術文化振興会
「義経千本桜」の魅力	鑑賞	菅泰男 林家辰三郎		国立劇場第一六九回歌舞伎公演解説書	平成3・11	日本芸術文化振興会
四の切随想	鑑賞	角田一郎		国立劇場第一七〇回歌舞伎公演解説書	平成3・12	日本芸術文化振興会
歴史の声・風土のみやび 桜の美学	鑑賞	前登志夫		国立劇場第一七〇回歌舞伎公演解説書	平成3・12	日本芸術文化振興会
義経と静御前	鑑賞	平岩弓枝		国立劇場第一七〇回歌舞伎公演解説書	平成3・12	日本芸術文化振興会
菊五郎が二つの大役 〔平成3・12国立劇場〕〔木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	戸板康二		演劇界	平成4・1	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
国立劇場開場二五周年公演の「義経千本桜」を見て 〔平成3・11～12国立劇場〕〔北嵯峨・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	横道万里雄		歌舞伎 研究と批評	第9号	平成4年6月 歌舞伎学会
充実した四演目 〔平成4・1歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	平成4・2	演劇出版社
「宙乗り狐六法」一千回 〔平成4・1歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	大矢芳弘		『歌舞伎リアルタイム 同 時代の演劇批評』		平成16年4月 森話社
狐と芸能	鑑賞	郡司正勝		国立劇場第一七三回歌舞伎 公演解説書	平成4・8	日本芸術文化振興会
キツネについて	鑑賞	増井光子		国立劇場第一七三回歌舞伎 公演解説書	平成4・8	日本芸術文化振興会
初役みごとな競演 〔平成4・8歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物 浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	戸板康二		演劇界	平成4・9	演劇出版社
歌舞伎ブームの中で 〔平成4・8歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物 浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	如月青子 渡辺保 犬丸治 上村以和於		歌舞伎 研究と批評	11	平成5年6月 歌舞伎学会
辰之助、智太郎健闘の勉強芝居 〔平成4・8国立劇場〕〔川連館〕	劇評	福本和生		演劇界	平成4・10	演劇出版社
狐忠信	芸談		《5》坂東八十助	演劇界	平成4・11	演劇出版社
昼夜を通じて光る「吉野山」 〔平成4・12歌舞伎座〕〔鳥居前・道行・川連館・ 蔵王堂〕	劇評	水落潔		演劇界	平成5・1	演劇出版社
歌舞伎ブームの中で 〔平成4・12歌舞伎座〕〔鳥居前・道行・川連館・ 蔵王堂〕	劇評	如月青子 渡辺保 犬丸治 上村以和於		歌舞伎 研究と批評	11	平成5年6月 歌舞伎学会
猿之助若手軍団のパルコ歌舞伎 〔平成5・1パルコ劇場〕〔鳥居前・道行・川連 館〕	劇評	福本和生		演劇界	平成5・2	演劇出版社
義経千本桜 狐忠信・碓知盛	鑑賞	石橋健一郎		『歌舞伎見どころ聞きどこ ろ 芸談でつづる歌舞伎鑑』		平成5年5月 淡交社
義経千本桜	鑑賞	水落潔		『歌舞伎鑑賞辞典』		平成5年9月 東京堂出版
鴈治郎・菊五郎が奮闘 〔平成5・11京都南座〕〔川連館〕	劇評	権藤芳一		演劇界	平成5・12	演劇出版社
お稲荷さん キツネ 芝居 「義経千本桜」に見える 稲荷信仰	随筆	角田豊正		朱	第37号	平成6年3月 伏見稲荷大社
義経千本桜	鑑賞	藤野義雄		『名作歌舞伎の舞台鑑賞』		平成6年6月 御園座



題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
復活狂言の台本と演出〔宙乗り〕	演出	戸部銀作		歌舞伎 研究と批評	13	平成6年6月 歌舞伎学会
忠孝狐のスペクタクル	鑑賞	河竹登志夫		国立劇場第四四回歌舞伎鑑賞教室解説書	平成6・6	日本芸術文化振興会
オーソドックスな「四の切」 〔平成6・6国立劇場〕〔川連館〕	劇評	林京平		演劇界	平成6・7	演劇出版社
“異類”の表現	鑑賞	石橋健一郎		演劇界	平成6・8	演劇出版社
「四の切」の忠信	芸談		《12》市川団十郎	演劇界	平成6・8	演劇出版社
義経千本桜	解説	戸部銀作		演劇界 歌舞伎名作鑑賞 丸本歌舞伎	平成7・1	演劇出版社
山川静夫の三大名作インタビュー 日本人好みの無常観そしてメルヘン	芸談	山川静夫／聞き手	《3》市川猿之助	演劇界 歌舞伎名作鑑賞 丸本歌舞伎	平成7・1	演劇出版社
義経千本桜 名セリフと芸談抄	台詞 芸談			演劇界 歌舞伎名作鑑賞 丸本歌舞伎	平成7・1	演劇出版社
狐 食肉目・いぬ科 義経千本桜	鑑賞	高久久		『歌舞伎動物記 十二支尽 歌舞伎色種』		平成7年2月 近代文芸社
小狐たちの門出 〔平成7・1浅草公会堂〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	佐藤俊一郎		演劇界	平成7・2	演劇出版社
猿之助の「天下茶屋」 〔平成7・2大阪大阪新歌舞伎座〕〔鳥居前・川連館〕	劇評	藤井康雄		演劇界	平成7・3	演劇出版社
義経千本桜	鑑賞	石橋健一郎		『日本の伝統芸能3 歌舞伎と舞踊』		平成7年4月 小峰書店
四十七年前の「義経千本桜」	鑑賞	福本和生		演劇界	平成7・6	演劇出版社
松緑を偲ぶ「千本桜」	鑑賞	松井俊諭		演劇界	平成7・6	演劇出版社
意義のあった「千本桜」通し 〔平成7・5歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦。道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	志野葉太郎 野村喬 水落潔		演劇界	平成7・6	演劇出版社
義経千本桜・河連法眼館／義経千本桜・大物浦／義経千本桜・鮎屋	解説	服部幸雄		『歌舞伎歳時記』		平成7年7月 新潮社
三代目市川猿之助論〔川連館〕	評論	水落潔		演劇界 市川猿之助の仕事	平成7・7増刊	演劇出版社
「あの忠信が…」〔川連館〕	鑑賞	橋本治		演劇界 市川猿之助の仕事	平成7・7増刊	演劇出版社
義経千本桜	解説	平田澄子		『講座日本の演劇4 近世の演劇』		平成7年8月 勉誠社 諏訪春雄・菅井幸雄／編
猿之助歌舞伎の本質提示 〔平成8・6名古屋中日劇場〕〔鳥居前・川連館〕	劇評	安住恭子		演劇界	平成8・7	演劇出版社
義経千本桜	解説	水落潔		『歌舞伎名作事典』		平成8年8月 演劇出版社 改訂新版

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
「猿之助十八番の内」の意味と中身 〔平成8・12歌舞伎座〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	利根川裕		演劇界	平成9・1	演劇出版社
国立と歌舞伎座の一二月公演 〔平成8・12歌舞伎座〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	水落潔		歌舞伎 研究と批評	第19号	平成9年6月 歌舞伎学会
墨染の桜と吉野の桜 〔平成8・12歌舞伎座〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	大矢芳弘		『歌舞伎リアルタイム 同時代の演劇批評』		平成16年4月 森話社
団十郎初役の権太 〔平成9・9歌舞伎座〕	劇評	如月青子		演劇界	平成9・10	演劇出版社
上方演出の「すし屋」 〔平成9・9京都南座〕〔木の実・竹藪・すしや・道行・川連館〕	劇評	水落潔		演劇界	平成9・10	演劇出版社
ソフトから歌舞伎再生へ 〔平成9・9京都南座〕〔木の実・竹藪・すしや・道行・川連館〕	劇評	河内厚郎		歌舞伎 研究と批評	第21号	平成10年6月 歌舞伎学会
上出来、秀太郎の維盛弥助 〔平成9・9京都南座〕〔木の実・竹藪・すしや・道行・川連館〕	劇評	栗山和義		上方芸能	一二九号	平成10年6月 『上方芸能』編集部
「義経千本桜」夢幻美の世界	解説	河竹登志夫		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社
「義経千本桜」の演出	演出	松井俊諭		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
「義経千本桜」鑑賞	鑑賞	金森和子		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
静御前	芸談	榎その	《7》中村芝翫	『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
源九郎狐	芸談	榎その	《3》市川猿之助	『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
駱駝の中の義経伝説	鑑賞	平岩弓枝		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
猫の忠信	鑑賞	《3》桂米朝		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
海外公演の「四の切」	鑑賞	金井俊一郎		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
「義経千本桜」役々の扮装	演出	金森和子		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
「義経千本桜」の道具と仕掛	演出	神山彰		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
「義経千本桜」役と役者	芸談	石橋健一郎		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
「義経千本桜」を歩く	鑑賞	角田豊正		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
人形浄瑠璃の黄金時代 菅原・千本桜・忠臣蔵	鑑賞	諏訪春雄		『岩波講座 歌舞伎・文楽 第九巻 黄金時代の浄瑠璃とその後』		平成10年3月 岩波書店
義経千本桜	解説 鑑賞	金森和子		『NHK日本の伝統芸能 歌舞伎鑑賞入門9』		平成10年4月 日本放送出版協会
芸談にみる「千本桜」の三役 知盛・権太・忠信	芸談	富士務	《7》坂東三津五郎	『NHK日本の伝統芸能 歌舞伎鑑賞入門9』		平成10年4月 日本放送出版協会
座談会 作品研究の起点	研究	今尾哲也 内山美樹子 上村以和於 渡辺保 近藤瑞男／司会		歌舞伎 研究と批評	21	平成10年6月 歌舞伎学会
猿之助の三役の充実 〔平成10・7歌舞伎座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	水落潔		演劇界	平成10・8	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
一九九八年後半の歌舞伎 〔平成10・7歌舞伎座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	佐藤俊一郎		歌舞伎 研究と批評	21	平成11年6月 歌舞伎学会
「千本桜」の三役完演 〔平成10・7歌舞伎座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	大矢芳弘		『歌舞伎リアルタイム 同時代の演劇批評』		平成16年4月 森話社
花の勢い 〔平成11・4名古屋御園座〕〔川連館〕	劇評	藤澤夏生		演劇界	平成11・5	演劇出版社
勘九郎の「四の切」への意識 〔平成11・8歌舞伎座〕	劇評	利根川裕		演劇界	平成11・9	演劇出版社
心持ちと型 〔平成11・8歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	渡辺保		歌舞伎 研究と批評	25	平成12年6月 歌舞伎学会
盛況のこんびら歌舞伎 〔平成12・4香川金丸座〕〔吉野山・川連館〕	劇評	萩原雪夫		演劇界	平成12・6	演劇出版社
『八犬伝』と演劇(二)／浄瑠璃史をめぐって 操浄瑠璃の黄金時代 合作浄瑠璃における立役者の推定	研究	河合眞澄		『近世文学の交流 演劇と小説』		平成12年7月 清文堂出版
猿之助の三十年 〔平成12・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成12・9	演劇出版社
二十世紀の終末、そして宗十郎最後の舞台 〔平成12・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	佐藤俊一郎		歌舞伎 研究と批評	第27号	平成13年6月 歌舞伎学会
鴈治郎の共演で厚味 〔平成12・9大阪大阪松竹座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	廓正子		演劇界	平成12・11	演劇出版社
猿之助の「千本桜」問題点を中心に 〔平成12・9大阪大阪松竹座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	栗山和義		演劇界	平成12・11	演劇出版社
義経千本桜	解説	水落潔		『NHK日本の伝統芸能 歌舞伎鑑賞入門12』		平成13年4月 日本放送出版協会
「義経千本桜」と私〔お里・静御前・典侍局〕	芸談		《4》中村雀右衛門	国立劇場第二二六回歌舞伎公演解説書	平成13・11	日本芸術文化振興会
団十郎の三役 〔平成13・11国立劇場〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成14・1	演劇出版社
中村座の「義経千本桜」 〔平成13・11平成中村座〕〔渡海屋・大物浦・木の実・竹藪・すしや・道行・川連館〕	劇評	水落潔		演劇界	平成14・1	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
掛け渡す橋、その在処 〔平成13・11国立劇場〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	上村以和於		歌舞伎 研究と批評	29	平成14年6月 歌舞伎学会
秋の陣三題噺 〔平成13・11国立劇場〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	渡辺保		歌舞伎 研究と批評	29	平成14年6月 歌舞伎学会
〔四の切〕	鑑賞	堂本正樹		『歌舞伎舞踊の鑑賞』		平成14年2月 演劇出版社
浄瑠璃と歌舞伎における知盛像の変遷 覚書き	研究	鎌倉恵子		芸能の科学	29	平成14年3月 東京文化財研究所
「義経千本桜」（四の切）宙のりの魅力と忠信のうれい	鑑賞	おくだ健太郎	《3》市川猿之助	『NHK日本の伝統芸能 歌舞伎鑑賞入門13』		平成14年4月 日本放送出版協会
新しい松緑のために 〔平成14・5歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成14・7	演劇出版社
〈猿之助歌舞伎〉ということ 〔平成14・11地方公演〕〔川連館〕	劇評	津金規雄		演劇界	平成15・2	演劇出版社
花形の香一杯 〔平成15・1浅草公会堂〕〔川連館〕	劇評	小玉祥子		演劇界	平成15・3	演劇出版社
団十郎の豊穡と菊五郎の超然 〔平成15・2歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成15・4	演劇出版社
「歌舞伎四百年」という年 その上半期 〔平成15・2歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	津金規雄		歌舞伎 研究と批評	32	平成16年1月 歌舞伎学会
規格と実験のあいだ 〔平成15・2歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	三浦広平		歌舞伎 研究と批評	32	平成16年1月 歌舞伎学会
名作案内2 義太夫狂言 義経千本桜	解説 鑑賞	安富順		『芝居絵に見る江戸・明治 の歌舞伎』		平成15年7月 小学館 早稲田大学演劇博物館／ 編
「清和源氏十五段」と「右大将鎌倉実記」、「義経千本桜」	研究	内山美樹子		演劇研究センター紀要	三	平成16年1月 早稲田大学21世紀COEプ ログラム
朱の鳥居・玉垣と義経・狐忠信 「義経千本桜」と伏見稲荷	研究	黒石陽子		朱	第47号	平成16年3月 伏見稲荷大社
狐忠信の位置 「義経千本桜」から	鑑賞	森西真弓		朱	第47号	平成16年3月 伏見稲荷大社
「千本桜」のいがみの権太	型	渡辺保		『歌舞伎 型の魅力』		平成16年8月 角川書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
二年後の「四の切」 〔平成16・6～7地方公演〕〔川連館〕	劇評	佐藤俊一郎		演劇界	平成16・10	演劇出版社
合評 〔平成16・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	水落潔 上村以和於		演劇界	平成16・9	演劇出版社
猿之助の不在、鴈治郎の健在 〔平成16・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	津金規雄		歌舞伎 研究と批評	35	平成17年6月 歌舞伎学会
「義経千本桜」の作者・構想と上演方法 2003年・2004年現在における	研究	内山美樹子		近松研究所紀要	15	平成17年2月 園田学園女子大学近松研究所
扇雀忠信大奮闘 〔平成17・4大阪大阪松竹座〕〔道行・川連館〕	劇評	亀岡典子		演劇界	平成17・7	演劇出版社
晴れやかな三月目 〔平成17・5歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成17・7	演劇出版社
髪結新三の面構え 〔平成17・5歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	児玉竜一		演劇界	平成17・7	演劇出版社
楽しませた鑑賞教室 〔平成17・7国立劇場〕〔川連館〕	劇評	小玉祥子		演劇界	平成17・9	演劇出版社
江戸世話物と義太夫狂言の魅力 〔平成17・9福岡博多座〕〔大内・堀川御所・道行・川連館〕	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成17・11	演劇出版社
静御前の袖丈〔川連館〕	評論	渡辺保		『名女形 雀右衛門』		平成18年2月 新潮社
飛鳥／川連法眼／源義経1	解説	古井戸秀夫		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
狐忠信／佐藤四郎兵衛忠信／静御前1	解説	安富順		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
初役・再演・挑戦 〔平成18・11新橋演舞場〕〔川連館〕	劇評	櫻井洋司		演劇界	平成19・1	演劇出版社
切れ味鋭い勘三郎の变化球 〔平成18・11京都南座〕〔道行・川連館〕	劇評	西村彰朗		演劇界	平成19・2	演劇出版社
充実の勘三郎襲名 〔平成18・11京都南座〕〔道行・川連館〕	劇評	上田由香利		上方芸能	一六三号	平成19年3月 『上方芸能』編集部
『近松以後の人形浄瑠璃』	研究	黒石陽子		『近松以後の人形浄瑠璃』		平成19年2月 岩田書院
千本桜の無常観 〔平成19・3歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	水落潔		演劇界	平成19・5	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
菊五郎の春 〔平成19・3歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成19・5	演劇出版社
踊り踊りて 忠信、立ちのぼる幻〔吉野山〕	評論	長谷部浩		『菊五郎の色気』		平成19年6月 文藝春秋
歌舞伎の楽しさを味わう 〔平成19・10名古屋御園座〕〔川連館〕	劇評	安住恭子		演劇界	平成19・12	演劇出版社
竹豊両座と人形浄瑠璃の黄金時代「三代名作」の時代	解説	今岡謙太郎		『日本古典芸能史』		平成20年4月 武蔵野美術大学出版局
誠実な舞台 〔平成20・7国立劇場〕〔川連館〕	劇評	櫻井洋司		演劇界	平成20・9	演劇出版社
妖かしの世界 〔平成20・7歌舞伎座〕〔鳥居前・吉野山・川連館〕	劇評	水落潔		演劇界	平成20・9	演劇出版社
義経千本桜	解説	渥美清太郎		『系統別 歌舞伎戯曲解題上』		平成20年12月 日本芸術文化振興会 ※歌舞伎資料選書・11
当た役の競演 〔平成21・10歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦・吉野山・川連館〕	劇評	水落潔		演劇界	平成21・12	演劇出版社
義経千本桜	解説	渥美清太郎		『系統別 歌舞伎戯曲解題中』		平成22年3月 日本芸術文化振興会 ※歌舞伎資料選書・11
三年後の地図 〔平成22・8新橋演舞場〕〔鳥居前・道行・川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成22・10	演劇出版社
海老蔵が通しで主要三役 〔平成22・9京都南座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成22・11	演劇出版社
義経千本桜	解説	渥美清太郎		『系統別 歌舞伎戯曲解題下の一』		平成23年1月 日本芸術文化振興会 ※歌舞伎資料選書・11
十六年ぶりの明治座歌舞伎 〔平成23・5明治座〕〔川連館〕	劇評	児玉竜一		演劇界	平成23・7	演劇出版社
新たな挑戦 〔平成23・6国立劇場〕〔川連館〕	劇評	中村桂子		演劇界	平成23・8	演劇出版社
『人形浄瑠璃のドラマツルギー—近松以降の浄瑠璃作者と平家物語—』	研究	伊藤りさ		『人形浄瑠璃のドラマツルギー—近松以降の浄瑠璃作者と平家物語—』		平成23年9月 早稲田大学出版部
又五郎の確かさ 〔平成24・4香川金丸座〕〔川連館〕	劇評	田中聡		演劇界	平成24・6	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
『義経千本桜』と歴史を我等に	鑑賞	橋本治		『浄瑠璃を讀もう』		平成24年7月 新潮社
座談会 六月襲名披露興行を語る 〔平成24・6新橋演舞場〕〔川連館〕	劇評	奈河彰輔 水落潔 山川静夫		演劇界	平成24・8	演劇出版社
身体のありかた 〔平成24・6～7地方公演〕〔鳥居前・道行・川連館〕	劇評	長谷部浩		演劇界	平成24・9	演劇出版社
洗い上げた「四の切」 〔平成24・10名古屋御園座〕〔川連館〕	劇評	安住恭子		演劇界	平成24・12	演劇出版社
家、家にあらず。 〔平成25・1大阪大阪松竹座〕〔川連館〕	劇評	西村彰朗		演劇界	平成25・3	演劇出版社
掉尾を飾る充実の舞台 〔平成25・3名古屋御園座〕〔川連館〕	劇評	安住恭子		演劇界	平成25・5	演劇出版社
洗練と土着性の融合 〔平成25・4香川金丸座〕〔川連館〕	劇評	亀岡典子		演劇界	平成25・6	演劇出版社
襲名披露一年の成果 〔平成25・6福岡博多座〕〔川連館〕	劇評	坂東亜矢子		演劇界	平成25・8	演劇出版社
『上方文化講座 義経千本桜』	鑑賞	大阪市立大学文学 研究科「上方文化 講座」企画委員会 ／編		『上方文化講座 義経千本 桜』		平成25年8月 和泉書院
「千本桜」の三役 〔平成25・10歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物 浦・道行・木の実・竹藪・すしや・川連館〕	劇評	犬丸治		演劇界	平成25・12	演劇出版社
襲名披露沸く 〔平成25・12京都南座〕〔川連館〕	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成26・2	演劇出版社
ガンジロはん好調 〔平成27・2大阪大阪松竹座〕〔川連館〕	劇評	西村彰朗		演劇界	平成27・4	演劇出版社
「船弁慶」と「千本桜」	鑑賞	中川俊宏		国立劇場第八八回歌舞伎鑑 賞教室解説書	平成27・7	日本芸術文化振興会
「若さ」ゆえの愉しみ 〔平成28・1浅草公会堂〕〔川連館〕	劇評	犬丸治		演劇界	平成28・3	演劇出版社
二代競演の「千本桜」 〔平成28・6歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦・木 の実・竹藪・すしや・道行・川連館〕	劇評	水落潔		演劇界	平成28・8	演劇出版社
上方狂言が並んだ初芝居 〔令和2・1大阪大阪松竹座〕〔川連館〕	劇評	亀岡典子		演劇界	令和2・3	演劇出版社
資料展示室 『義経千本桜』と浮世絵	鑑賞	渡邊晃／構成・解 説		国立劇場第三一八回歌舞伎 公演解説書	令和2・3	日本芸術文化振興会
幕間のひととき55 木花之佐久夜毘売と石長比売	鑑賞	中川俊宏		国立劇場第三一八回歌舞伎 公演解説書	令和2・3	日本芸術文化振興会



題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
歌舞伎カレイドスコープ第5回 毛縫に隠された狐忠信の魅力	鑑賞	ビュールク・トー ヴェ		国立劇場第三一八回歌舞伎 公演解説書	令和2・3	日本芸術文化振興会
ドラマを見るか？役者で見せるか？	鑑賞	加納幸和		国立劇場第三一八回歌舞伎 公演解説書	令和2・3	日本芸術文化振興会
「義経千本桜」の三役	鑑賞	水落潔		国立劇場第三一八回歌舞伎 公演解説書	令和2・3	日本芸術文化振興会
「身替座禅」の円熟 [令和2・11歌舞伎座] [川連館]	劇評	犬丸治		演劇界	令和3・1	演劇出版社
清々しい”純花形歌舞伎” [令和3・3京都南座] [吉野山・川連館]	劇評	坂東亜矢子		演劇界	令和3・5	演劇出版社